

平成18年11月佐呂間町突風による被害状況について（第2報）

※ これは速報であり、数値等は今後変わることもあります。

1. 本省及び開発局等の体制について

国土交通本省	11月7日	13:30	警戒体制
		14:30	佐呂間町突風災害対策本部設置
北海道開発局	11月7日	13:30	災害警戒本部設置
		17:30	非常体制

2. 気象の概要（11月8日 8時00分現在：気象庁）

○概況

1 当時の状況

7日13時には発達中の低気圧が宗谷海峡付近にあり、その中心から延びる寒冷前線が、北海道の中央部を東進しながら通過していた。

このため、大気の状態が不安定となり、7日13時30分頃活発な雷雲が佐呂間町付近を通過し、突風が発生した模様。

佐呂間（アメダス）では、7日13時30分に東南東の風8メートルの最大風速（*）を観測した。

網走西部には、7日6時46分に雷、強風、高潮、波浪注意報を発表していた。

（参考）気象庁では1971年以降の被害のあった竜巻を調査しているが、この付近では報告されていない。

* 最大風速は10分間の平均風速。

2 今後の見込み

発達中の低気圧がサハリン付近にあって次第に日本から遠ざかっており、

北日本の暴風のピークは過ぎつつあるが、北海道では昼前にかけて海上を中心に非常に強い風が吹く見込み。

また、北日本の海上では大しけとなっており、東北地方では8日明け方にかけて、北海道では8日昼前にかけて、大しけの状態が続く見込み。

8日7:30現在、網走地方において強風・波浪注意報発表中。

3. 国土交通省の対応

- ・ 11月7日14時30分、佐呂間町突風災害対策本部（本部長：河川局長）を設置。
- ・ 11月7日から渡辺国土交通副大臣が現地視察。
- ・ 11月7日から政府調査団に国土交通省担当官参加。

災害対策用機械出動状況（11月7日 23:00現在）

所有整備局	機械名	台数	出動先	
			場所	期間
北海道開発局	照明車	8	R333:北海道佐呂間町若佐	11/7～
北海道開発局	対策本部車	1		
北海道開発局	衛星通信車	1		

4. 政府の対応

- ・ 11月7日14時30分、総理官邸内危機管理センターに情報連絡室を設置。
- ・ 11月7日14時30分、内閣府情報対策室を設置。
- ・ 11月7日18時30分より、北海道における突風災害に関する災害対策関係省庁連絡会議を開催。
- ・ 11月7日から政府調査団（団長：防災担当大臣）が現地調査。

5. 人的被害等（11月7日21時45分現在：消防庁調べ）

- ・ 死者9名、負傷19名（重傷6名、軽傷11名、程度不明2名）
- ・ 住家被害：全壊15棟、半壊8棟、一部損壊14棟

6. 所管施設等の状況

○道路通行止状況等

1) 直轄国道（11月8日 6:00現在）

現在、突風により通行止めとなっている路線・区間はなし。

2) 北海道管理道路（11月8日 8:00現在）

現在、突風により通行止めとなっている路線・区間はなし。

問合先：河川局防災課災害対策室 山後
代表：03-5253-8111 内線35-832
直通：03-5253-8461